

大村小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・当校は、「地域に目を向ける」を活動テーマとして、ESDとは、子どもたちが将来社会に出たときに生きていく教育と捉え、ESDの実践を通して「他者を思いやる心の育成」を目標とした。
- ・SDGs, 環境を柱に, ①地域の人たちとつながる活動, ②SDGs 委員会の活動, ③未来のためにSDGsを意識した活動を行った。

・活動の実際

① 「花いっぱい活動」～おせっ会の人たちと～

3年生の総合の時間に、「学校の花壇を花いっぱいにならそう」という学習を行っている。どのような花壇にしたらよいかわからない児童たちに対して、地域の「おせっ会」という団体のかたがたが一緒に花壇をきれいにしようということで協力してくれている。



教えてもらおうとわかりやすいね

丁寧なご指導の下、子どもたちはどのようなことに気をつけたらよいか、どんなふうに植えたらよいかを教えてもらいながら花を植えていた。自分たちの花壇として、水やりなどの世話をし、愛着もわくような活動となってきている。

② SDGs 委員会活動 ～袋いっぱい活動～

昨年度より発足したSDGs委員会。小学校で行えるSDGsについて考え、活動を続けている。運動会や持久走大会などの行事の前に、運動場の落ち葉拾いや石拾いなどをすすんで行った。自ら考えるSDGsなので、児童の発想をもとに考え活動して



みんなできれいにしよう!

いる。まずは落ち葉拾いという活動でしたがこれをスタートに、さまざまな活動に広がっている。全校集会では、SDGsの考えを大村小版に置き換えて考え、児童に発表、紹介する活動も行った。

こんなにいっぱい拾えたよ



③ 未来のためにSDGsを意識した活動

「未来の天気予報」という動画を見て、地球温暖化がこのまま進むと、未来の日本が災害や食料不足で大変なことになることを知ることができた。何とかしなくてはいけないという思いのもと、地球温暖化について詳しく調べたいテーマを考え、本やインターネットで調べ学習をすすめた。その後、調べたことをチームごとにポスターにまとめ、発表した。

2学期には、環境問題について未来への思いを絵にし、エコメッセージ絵画コンクールに応募した。作品がポストカードとして戻ってきたら、自分たちの思いを伝えるために活用する予定である。また、出前授業でSDGsについて学んだこ



自作のプレゼンで発表

とをきっかけに、興味をもった目標について調べ、タブレットを使ってプレゼンテーションをした。友達の発表を聞いて、世界にはさまざまな問題があること知り、問題解決のために自分たちにできることをしていこうという意欲が高まった。



地殻変動が起こってしまうかも?

ESDの実践を通して、エアコンの設定温度を夏場は28度にしたたり、給食の残食を減らそうと声をかけたりするなど、実際にSDGsを意識した行動をとる姿が見られるようになった。また、SDGsについてもっと多くの人に知ってもらいたいという思いもあり、他学年や保護者に広げていくことができた。